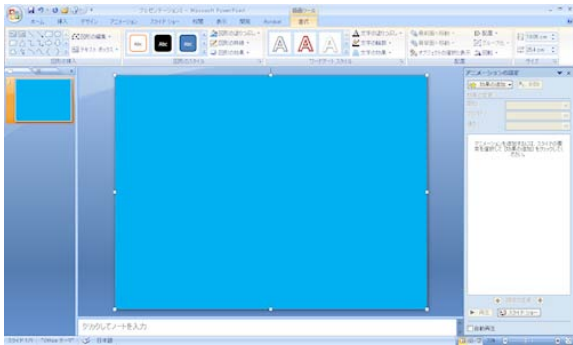
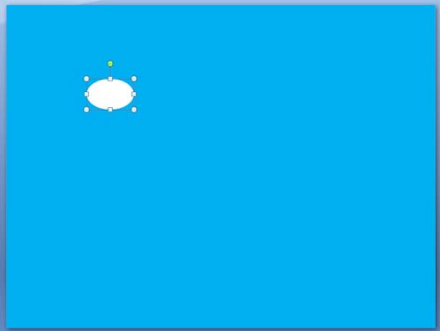
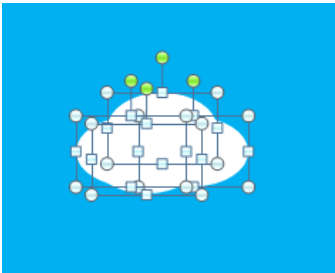
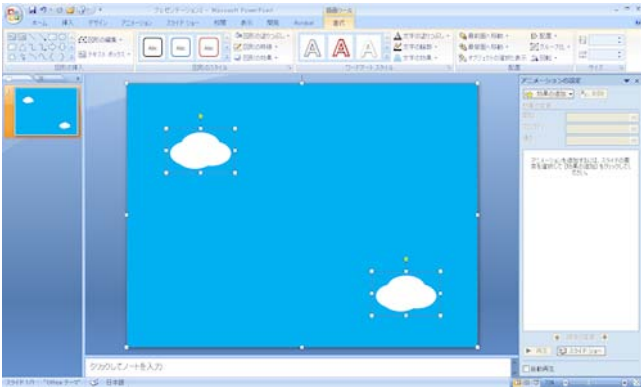
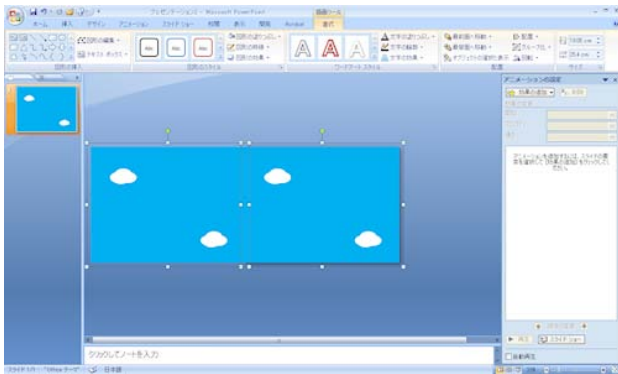


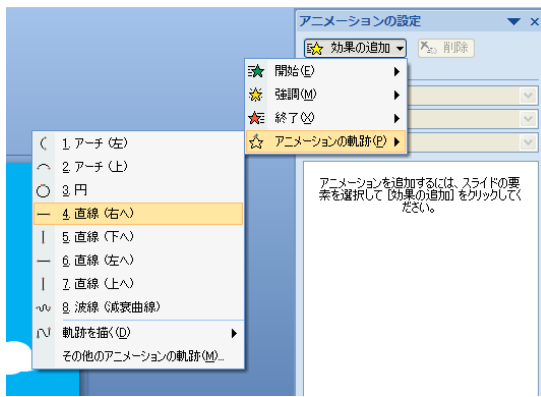
「ドリー#1 基本のドリー」

※ このマニュアルは、PowerPoint2007 で書かれています。

※ PowerPoint 中級者以上を対象として、操作によっては説明を端折ってあります。

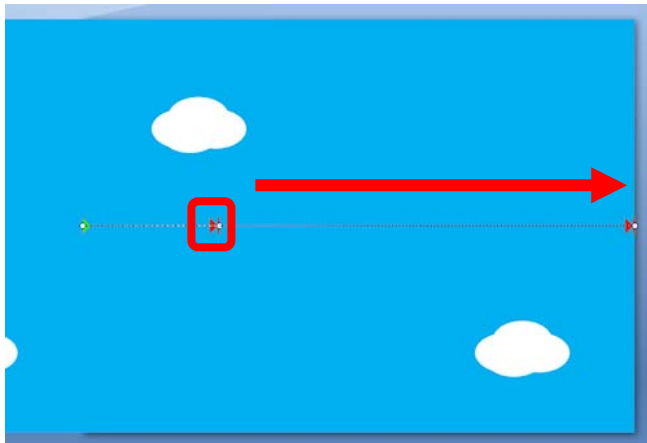
1		スライド画面いっぱいに、水色の四角を描きます。
2		今度は白い楕円を描きます。
3		これを3つ複製して、4つの楕円を雲の形になるように組み合わせてグループ化。
4		グループ化した雲を複製して ←こんな感じに配置します。 そしたら、雲2つと水色の四角をグループ化。
5		グループ化した空を複製し、スライド画面にある空の左側にぴったりくっつけます。 この空2つをさらにグループ化。 スライド画面からはみ出る作業なので、やりづらい場合は、「Ctrl」キーを押しながら、マウスホイールを回転させ画面を適度に拡大・縮小させて作業をすると楽。

6



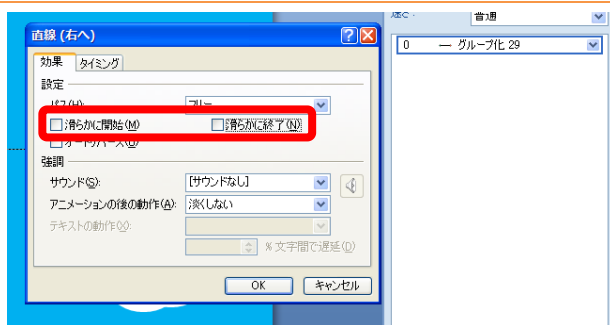
空に「アニメーションの軌跡」→「直線（右へ）」のアニメーションをかけます。

7



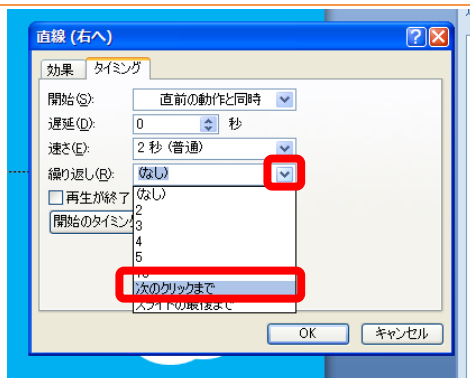
アニメーションの軌跡の終点を、スライド画面右端まで伸ばします。

8



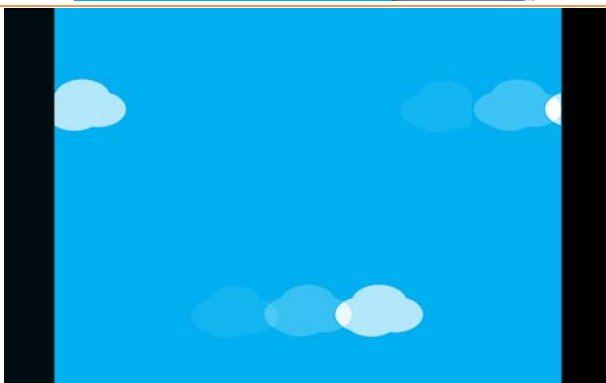
アニメーションの軌跡の「開始」は「直前の動作と同時に」、「速さ」は「速く」にし、「効果のオプション」の「滑らかに開始」&「終了」のチェックを外します。

9



「タイミング」の「繰り返し」を「次のクリックまで」にします。

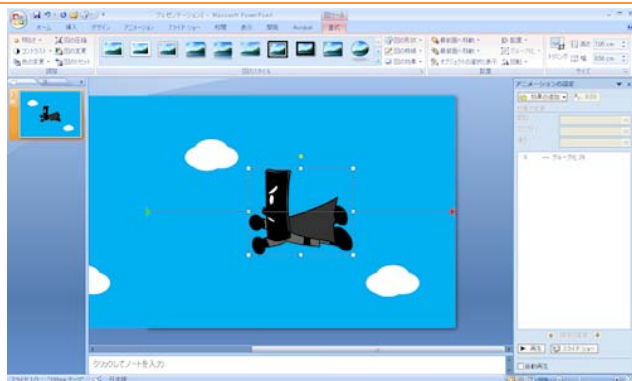
10



スライドショーで確認してみましょう。空が右にひたすら流れていくスライドができあがってるはずですよ。

つまり、2画面分の空が1画面分右に移動した後、最初の場所に戻り、それが繰り返されることで、空が永遠に動いているように見える仕組みです。

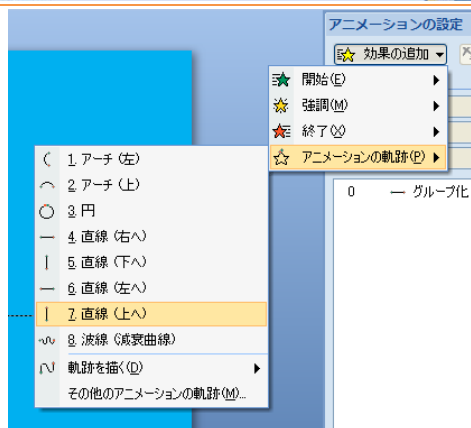
11



次に、背景を透過させたタケズミマンを貼り付けましょう。・・・って、そんな画像ないか。

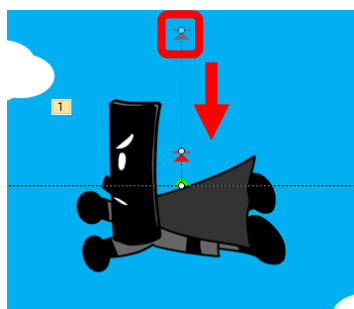
PCS でも、なんでもいいので、飛ばしたいものを貼り付けます。ただし、背景がPower Pointで透過できるものか、画像ソフトで透過したもの。

12



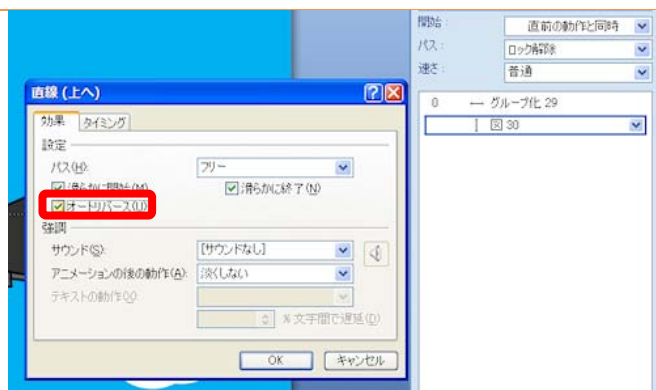
タケズミマンに、「アニメーションの軌跡」→「直線(上へ)」のアニメーションをかけます。

13



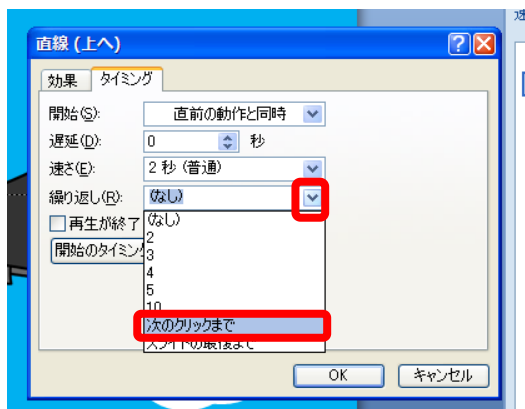
アニメーションの軌跡の終点を下げて、移動距離を短くします。

14



アニメーションの「開始」を「直前の動作と同時に」にし、「効果のオプション」の「オートリバース」にチェックを入れます。こうすると、タケズミマンが上に行ったあと下に戻ってきます。

15



「タイミング」の「繰り返し」を「次のクリックまで」にすれば、できあがり！

タケズミマンがふわふわしながら空を飛んでいきます。